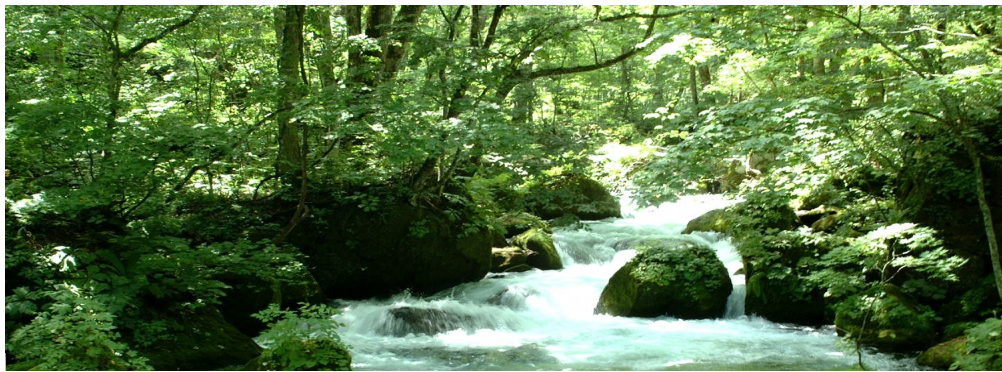




～がん治療による副作用を乗り越え、
食べることのよろこび、楽しみを見いだすために～



〈ご当地カフェ〉とは、がんになったあとの暮らしについて学び、語り合う学習イベントです。
この度、青森県立中央病院、国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援部の共催でがん治療と食事をテーマにカフェを開くことになりました。
お茶とご当地のスイーツを楽しみながら、講演を聞き、抱えている問題をみんなでざっばらんに話しあってみませんか？

平成29年

11月4日(土) 13:30～16:30
(13:00開場)

青森市文化観光交流施設
(青森県青森市安方1丁目1-1)

ねぶたの家 W・ラッセ

参加費 無料 定員 50名

対象 一般県民

共催 青森県立中央病院
国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援部

後援 公益社団法人青森県医師会/一般社団法人青森市医師会/一般社団法人青森県歯科医師会
一般社団法人青森市歯科医師会/一般社団法人青森県薬剤師会
一般社団法人青森県薬剤師会/公益社団法人青森県看護協会
公益社団法人青森県栄養士会/青森市/青森在宅緩和ケア懇話会/青森県よろこびの会
公益社団法人日本オーストミー協会青森県支部/血液疾患と歩む患者・家族の会まろまる
スマイルあつふるの会/オレンジサロン/青森癌患者傾聴の会「光輝くサロン」

プログラム

13:30 開会挨拶
～13:40 特別発言

13:40 体験談
(患者さん)

13:55 体験談
(ご家族)

14:10 講演
～14:40

14:50 カフェ
～16:25 タイム
& 試食会

16:25 閉会挨拶
～16:30

若尾文彦(国立がん研究センターがん対策情報センター長)
吉田茂昭(青森県病院事業管理者)

がん治療の副作用を乗り越え、
今を楽しく生きるために
～治療による食欲不振、味覚障害を克服した患者の体験～
ジョーンズ薫

母の「食べたい」思いに寄り添い、
食べるよろこびを分かちあった家族
～東京から青森714kmの距離を超えた家族の体験談～
中村由美子(文京学院大学 保健医療技術学部
看護学科教授)

がん治療中の食生活の工夫
藤井理恵薫(神奈川県立がんセンター 栄養管理部長)

～休憩～

いつでもおいしく食べたい
～おいしく食べるための工夫、
支援について語りあおう～
的場元弘(日本赤十字社医療センター 緩和ケア科部長)

高橋 都(国立がん研究センター がん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援部長)

高橋賢一(青森県立中央病院 緩和ケアセンター長)



〈ご当地カフェinあおもり〉のお問い合わせ先
青森県立中央病院 緩和ケアセンター

〒030-8553 青森県青森市東造道2丁目1-1 TEL 017-726-8111(内線:8568)